

生光学園17安打猛攻

つるぎ・阿波西 反撃及ばず

▽同(第3試合)

つるぎ・阿波西

00001400005
 31120100×8

生光学園

【評】生光学園が17安打を集めて打ち勝った。

一回、渡邊、安藝、岸本、伊佐治、手塚の単打5本で3点を先制。4-0の三回は渡邊、四回は岸本と吉崎、六回も吉崎がそれぞれ適時打を放った。

3点リードの七回から救援した3番手大山が要所を締めた。つるぎ・阿波西は五、六回に安打に敵失なごを絡め計5点を返したが、終盤は打線がつながらなかった。

生光学園・岸本寛意(先)



制打を含む3安打3打点「走者を返す」佐野(徳)

め、低くて強い打球を意識した。初戦は緊張して力んでしまったので、次の試合は狙い球を絞って思い切って振りたい」

◇Jリーグならなごシステム

▽1回戦(第1試合)

板野 00032015
 徳島市立 2000024
 (降雨により六回裏1アウト満塁から継続試合)
 (板)板塚(徳)佐野(徳)
 沢▽二塁打(藤谷 久次米(板) 佐野(徳)